

平成28年度環境とやま県民会議 事業報告

1 統一活動

私たちは、廃棄物などの身近な問題から地球温暖化をはじめとする地球的規模の問題に至るまで様々な環境問題に直面している。

これらの環境問題に適切に対応し、本県の素晴らしい環境を次の世代に引き継ぐためには、私たち一人ひとりが、環境について学び、ライフスタイルや事業活動のあり方を見直し、少ない資源、少ないエネルギーで生活する循環型社会と低炭素社会づくりを目指して行動していくことが求められている。

また、県内全域でのレジ袋の無料配布廃止、水と緑の森づくり税を活用した森づくり、小水力発電等の再生可能エネルギーの導入など、県民総参加で環境保全に積極的に取り組んできたことなどが高く評価され、昨年5月にはG7富山環境大臣会合が開催された。

こうしたことから、当県民会議では、引き続き統一活動として「とやまエコ・ストア制度」の普及・拡大を図るとともに、とやま環境フェアなど各種イベントを開催し、県民のエコライフの定着・拡大を呼びかけた。

また、当県民会議では、①「循環型社会と低炭素社会づくりの推進」、②「とやま節電・省エネキャンペーン」、③「環境教育・環境保全活動の推進」を事業の柱とし、これらを中心として、県民、企業、民間団体、行政が情報を共有し、一体となって事業を展開した。

2 事業内容

(1) 循環型社会と低炭素社会づくりの推進

<循環型社会づくり>

① とやまエコ・ストア制度普及・拡大事業の実施

- ・主 催 とやまエコ・ストア連絡協議会、富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団
- ・実施時期 平成28年10月15日(土)
- ・内 容 富山県ごみゼロ推進県民大会において、エコ・ストア優良取組事業所の表彰を実施した。
このほか、メールマガジン等でエコ・ストア制度の周知を図った。
- ・実 績 登録状況(74社1,123店舗・6商店街、平成29年3月現在)

② とやま環境フェア2016の開催

- ・主 催 とやま環境フェア2016開催委員会
- ・実施時期 平成28年10月15日(土)、16日(日)(3R推進月間)
- ・会 場 高岡テクノドーム(富山県産業創造センター)
- ・内 容 水と緑に恵まれた富山県の豊かな環境を守るとともに、よりよい環境を創造するため、循環型・低炭素・自然共生をテーマとした各種展示や実演、発表等を行い、環境保全活動の啓発を行った。
- ・実 績 2日間で約12,000名参加

③ごみゼロ推進県民大会の開催

- ・主 催 富山県、環境とやま県民会議
- ・実施時期 平成28年10月15日(土) (とやま環境フェア2016と併催) (3R推進月間)
- ・内 容 廃棄物の減量化やリサイクルの推進に関する関係者の理解を深めるとともに、ごみゼロ型社会の取組みを推進するため、ごみの減量化等に功績のあった個人・団体の表彰や活動報告を行った。
- ・実 績 約150名参加
環境とやま県民会議会長表彰 (ごみゼロ・リサイクル推進功労者)
5 団体
環境とやま県民会議会長表彰 (とやまエコ・ストア制度に関する活動)
1 事業所

<低炭素社会づくり>

①エコドライブ推進運動の実施

- ・主 催 エコドライブとやま推進協議会、富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団 (富山県地球温暖化防止活動推進センター)
- ・開催時期 平成28年10月15日、16日
- ・内 容 エコドライブは、窒素酸化物や二酸化炭素の排出量の削減のほか、燃料消費量の削減等の効果があることから、「知っている」から「実践している」へ行動の転換及び定着化を図るため、気軽にエコドライブを体験できるシミュレータを用いたエコドライブ体験会をとやま環境フェア会場で開催し、エコドライブの一層の定着・拡大を推進した。
- ・実 績 約200名参加

②ノーマイカー運動への参加

- ・主 催 富山県公共交通利用促進協議会
- ・実施時期 平成28年9月20日(火)【バスの日】～10月14日(金)【鉄道の日】
- ・内 容 公共交通の利用拡大と環境負荷軽減を目的に実施されるノーマイカー運動に参加することで、過度にマイカーに依存した生活を見直し、エコライフスタイルへ転換するきっかけとした。

③エコアクション21推進事業の実施

- ・主 催 富山県、(公財)とやま環境財団 (エコアクション21地域事務局)
- ・実施時期 平成28年4月～平成29年3月
- ・内 容 中小企業向けの環境マネジメントシステムである「エコアクション21」制度の普及を図るとともに、「エコアクション21自治体イニシアティブ・プログラム」を実施し、導入を促進した。
- ・実 績 認証・登録：113 事業者 (とやま地域事務局受付分、平成29年3月末現在)、イニシアティブ・プログラム：11 事業者

(2)とやま節電・省エネキャンペーン 2016

①クールビズ、ウォームビズ、うちエコ！の実践

- ・主 催 環境省、環境とやま県民会議
- ・開催時期 夏季、冬季
- ・内 容 夏のオフィスのエアコン設定温度を28℃とし、涼しく快適に過ごすために軽装（クールビズ）を実践した。また、冬のオフィスのエアコン設定温度を20℃とし、暖房に頼りすぎず、快適に過ごすビジネススタイル（ウォームビズ）を実践した。

さらに、クールビズ、ウォームビズの取組みをオフィスから家（うち）の中まで広げて「うちエコ！」を実践した。

②地球温暖化防止のためのCO₂削減／ライトダウンキャンペーンの実施

- ・主 催 環境省、富山県、（公財）とやま環境財団（富山県地球温暖化防止活動推進センター）
- ・開催時期 平成28年6月21日（火）～7月7日（木）
- ・内 容 夏至と七夕の両日、夜8時から10時までの2時間を特別実施日として設定し、「ライトダウンする夜は、みんなが地球を想う夜。」をスローガンに、家庭の不要な電気の消灯や、安全面、防犯面等で支障のない範囲でのライトアップ施設の消灯への協力を呼びかけた。
- ・実 績 協力施設：577施設

(3)環境教育・環境保全活動の推進

①環境とやま県民会議総会の開催

- ・主 催 環境とやま県民会議
- ・実施時期 平成28年4月10日（日）
- ・会 場 タワー111（スカイホール）
- ・内 容 環境とやま県民会議総会を開催し、環境とやま県民会議の活動方針を報告した。
- ・実 績 約400名参加

②とやまエコ活動宣言事業の実施

- ・主 催 富山県、環境とやま県民会議、（公財）とやま環境財団
- ・実施期間 平成28年4月～平成29年3月
- ・内 容 G7富山環境大臣会合の開催を契機に、県民及び事業者から日常生活や事業活動で今後取り組むエコ活動を宣言し、集まった宣言を各イベント会場やホームページ等で紹介することで、県民及び事業者にも更なるエコ活動の定着・拡大を推進した。
- ・実 績 県民：3,155人
事業者：49事業者

③ G 7 富山環境大臣会合開催記念シンポジウム

- ・主 催 富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団
- ・後 援 環境省
- ・実施時期 富山会場：平成28年4月10日(日) タワー111(スカイホール)
高岡会場：平成28年4月17日(日) 高岡ふれあい福祉センター
新川会場：平成28年4月29日(金・祝) ホテルグランミラージュ(魚津)
- ・内 容 本県のこれまでの環境の取組みを紹介するとともに、県民総参加での環境保全活動の一層の推進や、G 7 富山環境大臣会合に向けた機運の醸成を図るため、シンポジウムを開催した。

④ エコライフ・イベントの実施

- ・主 催 県内10市、富山県、(公財)とやま環境財団
- ・実施時期 平成28年4月～平成29年3月
- ・内 容 地域での取組みを推進するため、県内10市において、地球温暖化防止やごみゼロなどのテーマに基づき、「エコライフ・イベント」を実施した。また、構成団体においてはブース出展するなど積極的に参加し、エコライフへの普及を図った。
- ・実 績 約25,880名参加

市	期間	テーマ	来場者数
南砺市	4月～10月	エコビレッジ構想の普及啓発	540名
富山市	4月24日(日)	今、みんなが行動するとき	600名
	8月3日(水)	あなたが変われば未来は変えられる	150名
氷見市	5月21日(土)	エコライフの推進 (10施設訪問のため参加人数不明)	—
高岡市	7月27日(水)	環境に対する意識の育成	20名
	11月21日(月)	バイオマスの有効活用	20名
	3月2日(木)	富山県西部6市環境体験ツアー	56名
黒部市	8月28日(日)	エコライフスタイルの促進	3,500名
魚津市	9月24日(土)	水が旅するまち うおづ	800名
射水市	9月25日(日)	捨てるごみ 工夫一つで有効資源	3,700名
滑川市	10月29日(土)	環境問題	500名
小矢部市	11月12日(土)	地球温暖化防止	10,000名
	11月13日(日)		
砺波市	11月27日(日)	エコライフの推進	6,000名

⑤ 環境保全・環境教育に関する活動支援事業の実施

- ・主 催 富山県、(公財)とやま環境財団
- ・実施期間 平成28年5月～平成29年3月

- ・内 容 (公財)とやま環境財団に環境保全相談室を設置し、各種相談への対応、幼児とその保護者を対象としたエコライフ教室を実施するとともに小学生とその保護者を対象とした環境学習体験ツアーの企画運営を行った。
また、企業と民間団体等の連携・協働による環境保全活動を促進するため、「エコノワとやま交流会」を開催するとともに、県内で行われている様々な環境保全・環境教育活動について、ウェブサイト「エコノワとやま」を通じて情報発信し、環境保全・環境教育活動の拡大を図った。
- ・実 績 エコライフ教室：9回、環境学習体験ツアー：5回
エコノワとやま交流会の開催
(平成29年3月17日(金)、58名参加)

⑥とやま環境チャレンジ10事業の実施

- ・主 催 富山県、(公財)とやま環境財団
- ・実施期間 平成28年4月～平成29年3月
- ・内 容 小学4年生(10歳)の児童が、家庭における10の取組みを4週間実践することにより、児童と家族の環境保全意識の高揚及びエコライフの定着を図った。
- ・実 績 県内全市町村で合計71校、児童3,403名

⑦スターウォッチング推進事業の実施

- ・主 催 富山県、環境とやま県民会議、(公財)とやま環境財団
- ・実施期間 星空観察会：平成28年8月5日(金)
- ・内 容 大気汚染のない清澄な大気や街の明かりによる光害について理解を深めるとともに、身近な環境保全活動の実践を促進するため、「スターウォッチングのやり方と星の探し方」や「富山の美しい星空」についての講話や星空観察会を開催した。
- ・実 績 星空観察会：約200名参加

⑧環境教材等の配布

- ・主 催 (公財)とやま環境財団
- ・内 容 (公財)とやま環境財団への寄付金を活用し、幼児向け環境教育教材を各保育園・幼稚園に配布し、環境教育の推進や地球温暖化問題に対する理解や実践を促した。